



フューチャー イノベーション フォーラム

2008 年度活動報告



FIF

Future Innovation Forum



本活動報告の表紙について

フューチャー イノベーション フォーラムは
2008年度も様々なプログラムに取り組んでまいりました。
表紙を飾っているのは、この1年間の活動に
参加してくれた子どもたちの、たくさんの笑顔です。

Contents

■ FIF 代表特別対談	P2
■ FIF について	P4
■ 2008 年度の活動報告	P7
アドバイザリーボードミーティング	P8
運営委員会	P8
会員様向け企画	
イノベーションワークショップ 2007-2008	P9
イノベーションワークショップ 2008-2009	P10
キッズ&ユース企画	
企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」	P12
物流の最前線	
エネルギーの最前線	
カーデザインの最前線	
空間デザインの最前線	
ITらぼ	P18
パソコン組み立て教室	
ロボットカーレース	
KIDS 調査隊	P22
スーパーへ GO! in 新潟	
ミュージカル観劇&バックステージツアー	P24
キッズ&ユース向けウェブサイト「FIFkids」	P25
■ プレスクリッピング集	P26
■ イベントポスター集	P33

FIF代表 特別対談



牛尾 治朗 (うしお じろう)

東京大学法学部卒。1964年ウシオ電機設立。経済同友会代表幹事、経済財政諮問会議議員などを歴任後、社会経済生産性本部会長。

フューチャー イノベーション フォーラム代表 特別対談

ウシオ電機株式会社会長

フューチャーアーキテクト株式会社 CEO

牛尾 治朗 × 金丸 恭文

(聞き手) FIF アドバイザリーボードメンバー
早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授

川本 裕子

■ リーダー不在の時代 ■

川本 世界的な経済危機が叫ばれるなか、今の日本をどう見ますか？

金丸 他国の状況に比べるとまだ余裕がありますが、余裕があるからこそ中途半端に思えます。この“中途半端”というのが最大の危機ではないでしょうか。

牛尾 オバマ米大統領は先の就任演説で厳しい現実をありのまま訴え、国民の共感を得ました。この人に言われるのなら我慢しようとする誰もが思った。「みんなで苦しんでも改革するんだ」というリーダーに出てきてほしい。日本もみんなで苦しみを分かち合わなければなりません。

川本 そうですね。「負の分配」をしないといけないのに、それがまだ済んでいません。

牛尾 経済が成長する時は「収益の分配」、反対に不況下では「負担の分配」をどうするかですが、やはりみな負担の分配は嫌がります。だから企業や金持ちから税を取れという「富の再分配」の議論になってしまう。

過去を振り返ってみると、1973年のオイルショック時、我々は省資源・省エネルギーを掲げて「重厚長大」から「軽薄短小」へ大きく舵を切り、30%の賃金カットも呑んで労使一体となって乗り越えました。今こそそうしたドラスティックな構造改革論が出てくるべきです。

金丸 新生日本になるためには、戦後の復興に学ぶべきヒントがあるのではないのでしょうか。あの時代に立ち上がったリーダーたちは30～40代が中心でした。

牛尾 マッカーサーの追放令により50歳以上の指導者が一掃されたことで、国や企業を支える若い力が出てきてど

らんどん改革を進めていきました。誰もが死んだ戦友のためにという強い使命感に燃えていました。オバマという40代の若い大統領を生み出した米国に比べて、日本はまだ若手の台頭が遅れている印象があります。

川本 まずは若い人たちが挑戦できる、頑張れるしくみをつくるのが重要ではないでしょうか。

金丸 高い志と挑戦することを恐れない意欲を持った人が出てきてほしいです。

牛尾 今の若い経営者にも成功している人はいますが、どうしても自分や自分の会社のためという意識が強いように感じます。我々の世代は「パブリック」とはいかないまでも、自分個人だけでなく全体の幸せにつながるようにという「グループ・スピリット」を持っていました。さらに一歩進めて、みんなのため、国のためという大きな幸せに貢献するようになってほしいですね。

■ 正しい競争のなかで人は育つ ■

金丸 この100年に一度という経済危機のさなか、オバマ氏のようなバックグラウンドを持った大統領が出てきたことに私は運命を感じます。彼の若さと政治経験の乏しさを考えると、就任演説は大衆受けするスピーチになるだろうと思っていましたが、実際には派手さはなく地道なものでした。しかし心にすっと入ってくる。この説得力は彼の人生経験の深さからくるものではないかと思いました。彼のような「人生が深い人」こそ、今のような未曾有の危機を救えるのではないのでしょうか。

川本 ドイツのメルケル首相は旧東独出身です。国家の介入がどれだけ恐ろしいかを身にしみてわかっているから、命をかけて勝ち取った自由主義を簡単には手放さない、と

いう気概を感じます。このような骨のあるリーダーを日本はどう育てていけばいいのでしょうか？

牛尾 米大統領選を見て感じたのは、米国の民主主義がリーダーを育てた、ということです。はじめは華奢でか弱そうに見えたオバマが民衆の批判にさらされるなかで鍛えられ、1年の選挙戦をとおしてリーダーへと成長していきました。あれだけ短期間でリーダーに上り詰めたことに全世界が希望を持ったはずです。

川本 競争のなかで鍛えられ、経験を積んでいくことを日本も見習うべきだと感じました。

金丸 日本の教育現場では「競争はよくない」とされ、運動会の徒競走で全員一緒にゴールするのが当たり前となっています。でも競争をして、負けて、恥をかいだらいいのです。その悔しさをバネに次は頑張ろうと思う。“正しい競争”のなかで切磋琢磨し、鍛えられてこそ、人は深い人間に育っていくのではないのでしょうか。せっかく持っているポテンシャルを生かしていないのです。

川本 競争がなく、他と違うことが認められない教育のもとで、子どもたち自身も「自分は鍛えられていない」と感じ始めています。

牛尾 今の若い人たちは飢えたり着るものがなかったりという経験をしたことがありません。世の中は自由で豊かなものだと思込んでいる。しかし本来は、自由も豊かさも努力して勝ち取っていくものなのです。資源のない小さな国にこれだけ多くの人が住んでいる日本は、これからを担う若い世代が死に物狂いでやらなければ、世界との競争には勝てません。日本人のポテンシャルを信じ、若い世代の奮起に期待しようではありませんか。

(文中敬称略)

文責：Future Innovation Forum



川本 裕子 (かわもと ゆうこ)

東京大学文学部卒。オックスフォード大学経済学修士課程修了後、1988年マッキンゼー社入社。2004年より早稲田大学大学院教授。金融審議会委員。



金丸 恭文 (かねまる やすふみ)

神戸大学工学部卒。1989年フューチャーシステムコンサルティング設立。2007年フューチャーアーキテクトに社名変更。経済同友会副代表幹事。

FIFについて

フューチャー イノベーション フォーラム（略称：FIF）は「ITイノベーションを人と社会と企業の力に」というキーコンセプトのもと、2006年1月の設立以降、会員様向けのセミナーやワークショップをはじめ、未来を担う子どもたちを対象としたプログラムなど様々な活動に取り組んでいます。

キーコンセプト

ITイノベーションを人と社会と企業の力に

■ 業種を越えたベストプラクティス・ITの改革力の研究と共有

- ・ ITのさらなる進化の方向の探求
- ・ 次世代経営システムの研究
- ・ 産学連携の促進

■ 個人力のUP、自律的コミュニティへの支援

- ・ 子どもたちの潜在力の発掘・開花
- ・ 高齢者や中高生・大学生のITリテラシー教育（他団体、学校との連携）
- ・ 地域、コミュニティ、家庭でのIT活用研究

■ 効率的で質の高い教育サービスの研究

- ・ 大学をはじめとする教育機関へのIT教育支援、相互交流

主な活動

FIFの活動は大きく「会員様向け企画」と「キッズ&ユース企画」があります。会員様向け企画は年次総会にあたる「総会・懇親パーティー」とセミナー、ワークショップがあり、キッズ&ユース向け企画は「企業見学プログラム」「ITらぼ」、そして2008年度初めて開催した「KIDS調査隊」の3つのプログラムから成ります。

会員様向け企画

セミナー

「ITによるイノベーション」を基本テーマに有識者による情報発信と共有を行う

ワークショップ

ITにかかわるシリーズテーマのもと、参加者の専門領域や経験に基づいた幅広い視点から考える

FIF総会・懇親パーティー

「イノベーション」をテーマとした情報発信と共有を行うとともに、FIFの1年間の活動を報告する
会員の皆様が意見交換をし、相互の懇親を図る

キッズ&ユース企画

企業見学プログラム「社会の最前線！見学」

働くことの楽しさややりがいを体感し、働くことは社会を支えていることであると実感する
働くカッコいい大人とのふれあいをとおして、社会人としてあるべき姿を模索する

ITらぼ

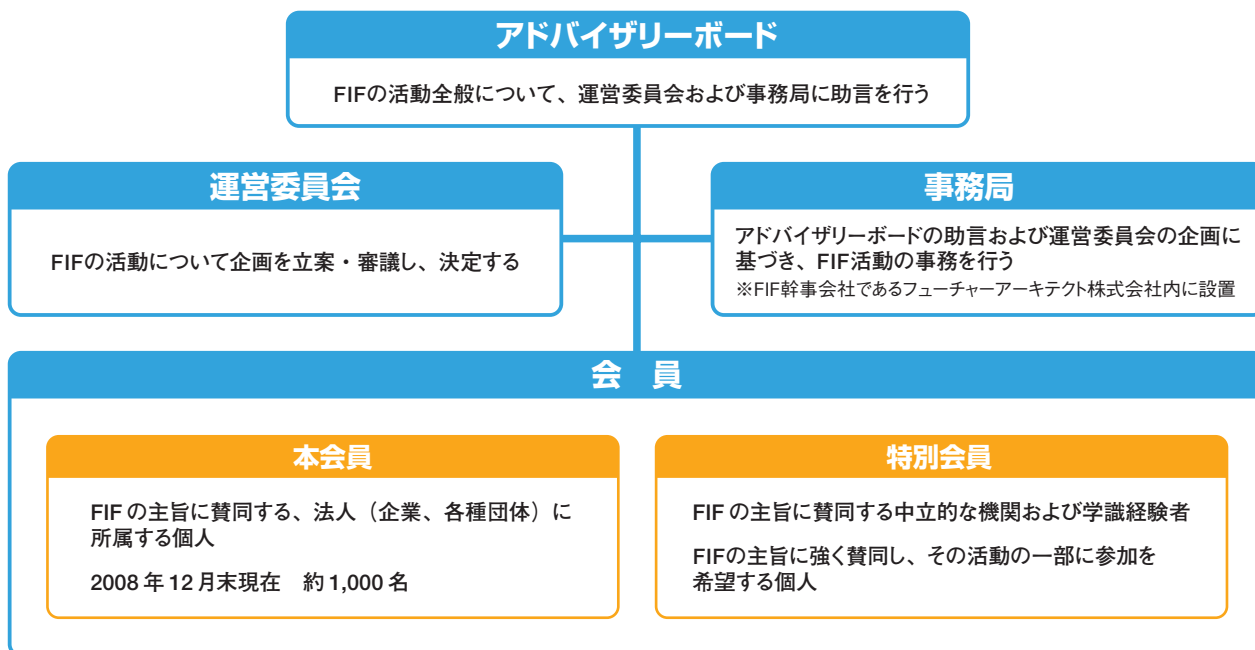
ITを“使う側”から“創る側”に立つことの喜び、楽しさを体感する
ITを身近に感じ、ITリテラシーの向上を図る

KIDS調査隊 08年度新企画

地域への理解、地域コミュニティとのふれあいを深める

組織図

FIFの組織は「会員」「アドバイザリーボード」「運営委員会」「事務局」で構成されます。
現在約1,000名の会員の皆様に活動へご参加・ご支援いただいています。



アドバイザリーボードメンバー

青木 昌彦	スタンフォード大学 経済学部 名誉教授	白井 克彦	早稲田大学 総長
明石 勝也	聖マリアンナ医科大学 理事長	鈴木 茂晴	株式会社大和証券グループ本社 代表執行役社長 CEO
荒川 亨	株式会社 ACCESS 代表取締役社長 兼 最高経営責任者	張 富士夫	トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長
伊藤 元重	東京大学大学院 経済学研究科 教授	中西 勝則	株式会社静岡銀行 代表取締役頭取
牛尾 治朗	ウシオ電機株式会社 代表取締役会長	新浪 剛史	株式会社ローソン 代表取締役社長 兼 CEO
金丸 恭文	フューチャーアーキテクト株式会社 代表取締役 CEO	藤沢 久美	ソフィアバンク 副代表
川本 裕子	早稲田大学大学院 ファイナンス研究科 教授	増田 宗昭	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 代表取締役社長
栗和田 榮一	佐川急便株式会社 代表取締役社長	三木谷 浩史	楽天株式会社 代表取締役会長 兼 社長
小島 順彦	三菱商事株式会社 代表取締役社長	渡 文明	新日本石油株式会社 代表取締役会長
榊原 清則	慶應義塾大学 総合政策学部 教授		

(2008年12月末現在 氏名50音順敬称略)

運営委員

澤 昭裕	日本経済団体連合会 21世紀政策研究所 研究主幹	櫻田 浩	フューチャーアーキテクト株式会社 取締役常務執行役員 FIF2008年度実行委員長
早坂 淳吾	ウシオ電機株式会社 社長室 秘書課 マネージャー	山本 真士	フューチャーアーキテクト株式会社 取締役執行役員 FIF2006年度実行委員長
北東 卓	佐川急便株式会社 システム推進部 部長	岡安 夏世子	フューチャーアーキテクト株式会社 経営企画本部 マネージャー FIF 事務局長
前川 徹	サイバー大学 IT総合学部 教授		
安延 申	フューチャーアーキテクト株式会社 代表取締役社長 FIF2007年度実行委員長		

(2008年12月末現在 敬称略)

2008年度の活動方針

FIF 活動のしくみづくりから“発信”の年へ

- FIFの各活動を通して、社会の認知度を向上させる
- 地方イベントを拡充し、地域コミュニティとの連携を強化する
- 子どもたちだけでなく、ファミリーを巻き込むために女性（母親）視点での活動を拡充する
- 会員の皆様だけでなく、子どもたちもアクセスしやすい情報発信のしくみを確立する

2008年度の活動実績

2008年度は「FIF 活動のしくみづくりから“発信”の年へ」という活動方針のもと、前年度の反省を踏まえながらプログラム内容や運営方法の見直し・拡充に努め、参加者の満足度もさらにアップしました。キッズ&ユース企画では大分、仙台、新潟でイベントを開催し、活動の場を地方へ広げることができたほか、新たに子ども向けのウェブサイトを開設し、子どもたちや保護者の皆様への情報発信に取り組みました。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体	1/21 第4回 運営委員会					6/10 第3回アドバイザーボード ミーティング	7/17 第5回 運営委員会					
会員様向け企画	ワークショップ	2/29 第3回		4/17 第4回								
	新ワークショップ							9/25 第1回		11/20 第2回		
キッズ&ユース企画	企業見学		3/27 物流の 最前線				7/31 エネルギーの 最前線	8/4 カーデザインの最前線	8/24 空間デザインの最前線			
	ITらぼ 組立教室 ロボット	2/16 大分少年少女 発明クラブ				6/13 品川区立 立会小	7/27 ものづくり 教室	9/5 品川区立 日野学園				
						6/14 品川区立 立会小		9/6 品川区立 日野学園				
	調査隊 新企画 サイト					6/6 「FIFkids」 オープン		8/2 スーパーへGO! in 新潟				
	その他							8/16 8/27 (大阪) (東京)				
												ミュージカル観劇&バックステージツアー

2008年度の 活動報告

アドバイザリーボードミーティング

運営委員会

会員様向け企画

イノベーションワークショップ 2007-2008

イノベーションワークショップ 2008-2009

キッズ&ユース企画

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」

物流の最前線

エネルギーの最前線

カーデザインの最前線

空間デザインの最前線

ITらぼ

パソコン組み立て教室

ロボットカーレース

KIDS 調査隊

スーパーへGO! in 新潟

ミュージカル観劇&バックステージツアー

キッズ&ユース向けウェブサイト「FIFkids」

アドバイザーボードミーティング& 運営委員会

FIFは、アドバイザーボードメンバーならびに運営委員の皆様から提案や助言をいただきながら活動を行っています。アドバイザーボードミーティングは年1回開催し、FIFの活動に対してご意見、アドバイスをいただいています。また運営委員会は定期的に開催し、FIFの活動について企画を立案・審議し、決定しています。

アドバイザーボードミーティング

実施日 2008年6月10日(金) 10:00～12:15
実施場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京（東京都港区）
出席者 14名
式次第

1. 開会 FIF代表・当ミーティング議長
金丸 恭文（フューチャーアーキテクト株式会社CEO）
2. これまでの活動実績の振り返り
3. 代表ご挨拶 FIF代表
牛尾 治朗（ウシオ電機株式会社社長）
4. 新規アドバイザーボードのご紹介
5. 運営委員の追加・変更についてのご報告
6. 2008年度の活動について
7. 意見交換ならびにご歓談

メンバーからの感想・助言・要望

- ・参加意識をどう高めていくかが大切。いろいろな人たちをどう巻き込んでいくかも考えなければならない。
- ・先進的な技術革新を世の中へどんどん情報発信していくべきだ。
- ・子どもたちの生き生きと取り組む姿に感銘を受けた。
- ・学校では学べないことをこの活動をとおして子どもたちに教えていきたい。



運営委員会

実施日 2008年1月21日(月)、7月17日(木)の計2回開催
実施場所 東京都内
出席者 各回6～8名
内容

- ・新委員、新実行委員長の紹介
- ・2008年度の活動内容について検討
- ・各プログラムの開催報告
- ・その他、諸連絡ならびに意見交換

委員からの感想・助言・要望

- ・地道ではあるが順調に活動できているのではないかと感じる。
- ・地方での開催が増えるなど、活動の幅の広がりを感じる。
- ・会員向けの活動はもちろん、キッズ&ユース企画についてもできるところは積極的に協力していきたい。



会員様向け企画

イノベーションワークショップ2007-2008

イノベーションワークショップは、FIFが初年度から実施している活動のひとつです。「ITの昨日、今日、明日」をテーマに、2007年秋から2008年春にかけて全4回開催し、ここ30年間のIT業界の歴史を振り返りながら、より豊かな社会の実現に向けた、ITによるイノベーションの可能性を探りました。

- **コーディネーター** サイバー大学 IT総合学部 教授 前川 徹 様
- **実施場所** フューチャーアーキテクト株式会社社内会議室

第3回



前川 徹 様

実施日 2008年2月29日(金) 18:00～19:50
参加者 11名
テーマ 「SaaS (Software as a Service) の可能性とそのインパクト」
スピーカー サイバー大学 IT総合学部 教授 前川 徹 様



参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・ 関心の高いテーマで、日頃考えていたことの整理もできました。
- ・ 前川先生のポイントを押さえたプレゼンが非常に良かったと思う。事例を交えた説明で理解しやすかった。
- ・ 今後の発展、利用の拡大が期待される SaaS について色々な角度で見ることができ勉強になりました。



第4回



田中辰雄 様

実施日 2008年4月17日(木) 18:00～19:50
参加者 11名
テーマ 「モジュール化の終焉と統合への回帰 — 情報化の長期トレンド」
スピーカー 慶應義塾大学 経済学部 准教授 田中 辰雄 様



参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・ マクロの動きを整理した形で自分の中で image することができた。
- ・ ユーザーとして、仕事として、見方が変わりました。本日は聴きました点に注視してこれからは生かせたらと思います。
- ・ 脳の活性化に大いに役に立ちました。



※ 第1回は2007年8月、第2回は同年9月に実施。詳細は07年度活動報告に掲載。

会員様向け企画 新シリーズ

イノベーションワークショップ2008-2009

地球温暖化や原燃料需給の逼迫などが大きくクローズアップされるなか、イノベーションワークショップ新シリーズは「地球環境とIT」をテーマに、省エネや効率的なエネルギー管理に向けてITをどのように活用していくのか、またITシステム自体の省エネ化をどう進めていくのか、様々な角度から未来を展望しました。東京大学先端科学技術研究センターのご協力のもと、2008年秋から2009年春にかけて全3回開催しました。

- **コーディネーター** 日本経済団体連合会 21世紀政策研究所 研究主幹 澤 昭裕 様
(前 東京大学 先端科学技術研究センター 教授)
- **実施場所** フューチャーアーキテクト株式会社社内会議室

第1回

- 実施日** 2008年9月25日(木) 18:00～19:55
- 参加者** 10名
- テーマ** 「地球温暖化問題の裏表」
- スピーカー** 東京大学 先端科学技術研究センター 教授(当時) 澤 昭裕 様

ディスカッション概要

参加者：排出権取引を率先してやったほうが、結果的に日本経済のためにはいいのでは？

講師：排出権取引はあくまでも方法であって、削減目標を達成するには、環境税や省エネ法といったほかの方法でも達成できる。問題なのは、目標達成のためにいくつものツールを持つと、かえって経済を歪めてしまうということだ。すでに日本は相当歪んでいる。排出権取引制度を入れる前に、まずはツールを一本化するための議論をすべきだと思う。

参加者：温暖化防止への取組によって生活にどれだけ負担がかかるのか、私たちにはまったく知らされていないのでは？

講師：そのとおり。次期枠組みの中で（削減目標を）何パーセントにすべきなのかということについて国民の間で議論できるほどの情報量が、ほとんどない状況だ。国民生活にどれだけ負担を強いることになるのか、日本政府は数値的な情報を開示すべきだ。

参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・これまであまり説明されていない背景・問題点を理解でき良かった。
- ・京都議定書、排出権取引等の基本的な理解が出来ました。判り易く説明してくださって感謝します。
- ・いいお話有難うございました。参考になりました。
- ・(今後のテーマとして) 温暖化は本当に問題なのかについて聞いてみたい。



澤 昭裕 様



第2回

実施日 2008年11月20日(木) 18:00～19:55
 参加者 11名
 テーマ 「ユビキタスネットワークと環境」
 スピーカー 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 森川 博之 様

ディスカッション概要

参加者：ユビキタス社会ではあらゆる情報を集めるというが、人は情報を取捨選択する。すべての情報は要らないのではないか？

講師：おっしゃるとおりだ。情報をすべて手に入れても何も出てこないこともあり、必要か不必要かはわからない。ただ、ある実験で家族全員にセンサーを取り付けてもらい、生活行動パターンのデータをとったところ、朝の目覚めから1時間は母親だけが動き回っているという結果が得られた。そして母親ばかりが働いていることを知った家族が実験以降はよく家事を手伝うようになったと母親たちから感謝された。こういうのはやってみないとわからない。何か面白いものが出てきたらいいと日々取り組んでいる。

参加者：ネットの世界で終わるのではなく、実生活とネットがつながることに興味がある。何か成功例はないか？

講師：それはみんなで考えていくべき問題だと思う。インターネットをつくった人も今の世界は想像していない。私たち研究者がまず環境をつくり、それを使った人びとがフィードバックを繰り返して、みんなでより良いものを作り上げていくことが重要だ。

参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・ユビキタスの現状や近い未来を大きくつかむことができました。
- ・時代の流れを読み取る感性に磨きをかけることの必要性を強く感じました。
- ・実務に反映できる可能性も充分ある技術だと考えますので、今後も気にかけていきたい。



森川博之様



※ 第3回は2009年2月に実施。09年度活動報告に掲載予定。

提言 「ITと地球温暖化問題」

イノベーションワークショップ2008-2009

コーディネーター 澤 昭裕

ITが地球温暖化問題の解決に貢献する道筋は3つある。

第一は、IT機器の消費電力を落とすことである。省エネ法によるトップランナー規制*のキャバレッジが広がるなか、これからも継続的な技術開発が望まれる。絶え間ないエネルギー効率の向上によって、最も難しい民生・業務部門の二酸化炭素の削減がもたらされる。

第二は、ITの発達によって地球温暖化の観測、予測が精緻化されていくことだ。実際、地球シミュレーターのような最高水準のスーパーコンピューターの開発により、複雑な気候モデルが構築され、地球温暖化の科学は急速に進化した。

第三は、逆説的だが、ITの普及によって、自然と調和したオールドスタイルの生活が可能となる。自然派のライフスタイルは、昔は一部の環境保護派の人たちが追求していただけだったが、現在では一般の人びとの間にも拡大しつつある。退職後は「田舎生活」を希求する人も多い。ITが未発達だった時代には、そうしたライフスタイルに付き物の「不便」が許容を超えていたが、ITの普及によって、今では日本中どこでも、都会に住んでいるのと同じ便利さを享受できるようになっている。

ITと地球温暖化問題の関係は、以前はそれほど意識されていなかったが、今回のワークショップを契機として、このように幅広い観点から継続的に検討されるべき問題であることが伝わったのではないだろうか。

* 自動車や家電製品などの省エネルギー基準を、現在商品化されているなかで最も優れている製品の性能以上にすることを義務付けたもの



キッズ&ユース企画

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」は、FIFが初年度から実施している活動のひとつです。小中学生を対象にした一日職業体験プログラムで、社会のしくみを知り、働くことの楽しさを体感することで「働いて楽しい!」「プロの技はスゴイ!」「働くことは社会を支えていることなんだ!」と実感してもらうことを目的としています。2008年度は前年度に続いて佐川急便株式会社様、新日本石油株式会社様、トヨタ自動車株式会社様にご協力いただいたほか、株式会社コスモスイニシア様で初めて実施いたしました。

コンセプト

働くカッコいい大人に会いにいこう

社会の“しくみ”の実感

企業で仕事の実体験をすることによって、企業の成り立ちや役割を知るとともに、いままで気づかなかった社会の“しくみ”を実感する

社会人としてあるべき姿の模索

企業トップとの対話やふだん接することの少ない社会人とのふれあいをとおして、大人になる過程で意識すべき社会人としての理想像やリーダー像、将来の夢を、より現実的に考えられる手助けをする

働くことの楽しさややりがいを体感

学校や家庭とはひと味違う、企業のオフィスや工場での様々な体験をもとに、社会で働くことの楽しさややりがいを体感する

プログラムの特色

実施にあたっては、下記を特色としたオリジナルのプログラムを受入企業・団体の皆様とともに企画しています。

- 企業・団体のトップと参加者との直接の対話、ふれあい
- これまで部外者に開放したことのない場所やシステムの見学
- 現場での職業体験

物流の最前線（佐川急便株式会社様）

- **コンセプト** 配達・集荷の実習体験などをとおして、物流のしくみを知り、理解を深める
- **実施日** 2008年3月27日(木) 10:00～16:40
- **実施場所** 佐川急便株式会社 本社 東京本部（東京都江東区）
大和証券グループ本社（東京都千代田区）
佐川フィナンシャル株式会社（東京都中央区）
佐川急便株式会社 千代田店（東京都江東区）
- **参加者** 小学5～6年生の計20名
- **実施内容** 授業（セールスドライバーの仕事、実演による集配業務の説明）
様々なトラックの見学
2人1組での配達実習（大和証券グループ本社にて）・集荷実習（佐川フィナンシャルにて）
荷物の発送作業（佐川急便千代田店にて）
東京本部オフィス見学
栗和田社長との質疑応答



参加者がみんな楽しそうに取り組んでいて、笑顔がとても素敵だった。子どもたちが物流の仕事に好奇心をもってくれていることを私自身改めてわかったし、社内においてももう一度自分たちの原点を見直すパワーになったと思う。

佐川急便株式会社 代表取締役社長 **栗和田 榮一** 様



エネルギーの最前線 (新日本石油株式会社様)

- **コンセプト** 新日本石油の魅力を知り、日本のエネルギーを支える石油を学ぶ
地球環境との調和と次世代エネルギー開発について学び、体験する
- **実施日** 2008年7月31日(木) 10:00～16:30
- **実施場所** 新日本石油株式会社 中央技術研究所 (神奈川県横浜市)
新日本石油精製株式会社 根岸製油所 (同)
- **参加者** 中学1～3年生の計20名
- **実施内容** 会社説明・会社紹介ビデオ上映
中央技術研究所見学・実験 (石油精製プロセス・実車試験の見学、燃料電池の実験、燃料電池車試乗)
若手研究者の方たちとの昼食
根岸製油所見学 (計器室・常圧蒸留装置見学)
タンカー乗船 (ブリッジ・コントロールルーム・機関室の見学、船長への質疑応答)
グループワーク
渡会長からのお話&質問会



(新日本石油が)環境問題(未来)について考えているということが分かった。(中2女子)

新しい技術と、大きな機械、普段見られないような設備を見ることができた。(中3男子)



(タンカー乗船は)たぶんこれが最初で最後だと思えると忘れられない。(中1男子)



(渡会長から)貴重なお話と、今後生きてくる言葉をきくことができた。(中3男子)



昨年以上に参加者の目がキラキラしていたのが印象的だ。ものづくりの重要性や社会に出て働く意義などに興味をもってもらえたようで、私にも多くの質問をいただき手ごたえを感じた。これからの成長過程において大きな財産となる体験の一端を担えたのではないかと。

新日本石油株式会社 代表取締役会長 **渡 文明** 様

カーデザインの最前線 (トヨタ自動車株式会社様)

- **コンセプト** カーデザインの考え方を学び自らデザインすることで、その面白さを体感し、自動車産業への理解を深める
- **実施日** 2008年8月4日(月) 10:00～16:10
- **実施場所** トヨタ自動車株式会社 東京デザイン研究所 (東京都八王子市)
- **参加者** 小学5～6年生の計12名
- **実施内容**
 - 会社説明・会社紹介ビデオ上映
 - デザイン講義～カーデザインの基礎知識
 - デザイン演習①～描き方のテクニックを学ぼう
 - デザイン演習②～未来のクルマをデザインしよう
 - i-unit 試乗～未来のクルマにふれてみよう
 - モデリング手法実演
 - モデリング演習～デザインをカタチにしよう
 - デザイン発表
 - 平井常務役員のお話&質問会
 - トヨタデザイン賞の発表・表彰式



子どもたちが周りの人や社会のことを考えながらデザインしている姿を頼もしく感じた。いまトヨタも将来のモビリティや環境にやさしい技術を提案しているが、それが子どもたちの情熱と夢で実現してくれたらいいなと願っている。

トヨタ自動車株式会社 常務役員 (デザイン本部担当) **平井 和平 様**

空間デザインの最前線 (株式会社コスモスイニシア様)

- **コンセプト** 空間デザインの体験をとおしてディベロッパーの仕事を知り、理解を深める
- **実施日** 2008年8月24日(日) 10:00～15:00
- **実施場所** 株式会社コスモスイニシア (東京都千代田区)
- **参加者** 小学5～6年生とその保護者の計8組16名
- **実施内容**
 - 会社紹介
 - 宿題発表～「理想の家」の発表と家族の紹介
 - オフィス紹介
 - パネル組み立て①～理想の家を組み立てよう！
 - パネル組み立て②～隣の家との共用スペースを作ってつなげよう！
 - お宅訪問～みんなが作った家を訪問しよう！
 - 町田社長のお話&質問会



今日一日家づくりなどを手伝ってくれてありがとうございました。またどこかで会えたらいいと思っています。(小5女子)



出来たら、また来年もこの体験をしたい。(小6男子)



今日1日とても楽しかったです。ありがとうございました。またコスモスイニシアへ来たいです。(小5男子)



しょうらいのゆめが建築家だからもっときょうみをもった。(小5男子)

「自分が思ったことを“カタチ”にしていく体験」が子どもの成長過程において有意義だと考えた。子どもたちの独創的なアイデアに感心しつつ、環境や家族の絆を大切にしながら家づくりで社会に貢献することの重要性と責任を再認識する良い機会になった。

株式会社コスモスイニシア 代表取締役社長 **町田 公志** 様

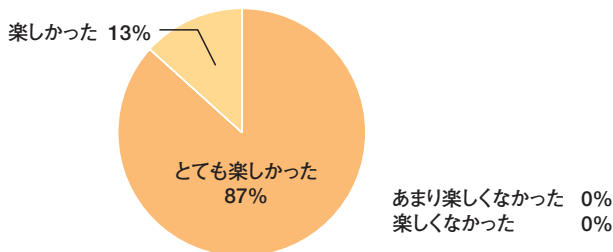


『社会の最前線』見学 アンケート結果

FIFではプログラム終了時に参加者と保護者を対象にしたアンケートを毎回実施しています。このアンケート結果をもとに、子どもたちにとってより有意義なプログラムにしようと、内容の見直しや改善に日々取り組んでいます。下記にアンケート結果の一部をご紹介します。(回答者数60人、回答率100%)

■ 参加者の感想

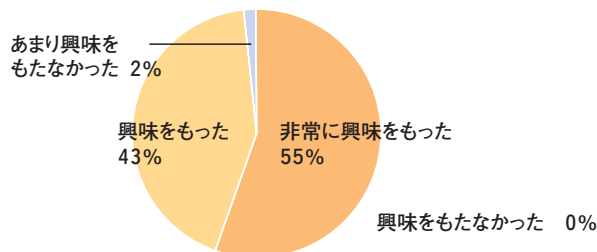
質問1 参加してみてどうでしたか？



質問2 それはなぜですか？

- ・トラックに乗ったり、荷物をとどけたりして、すごくおもしろかったから。(小5女子)
- ・いろいろな機械などを見れたり、燃料電池を作ったりできたから。(中3男子)
- ・ホイールのデザインができたり、クレイモデルが作れたから、とても楽しかったから。(小5男子)
- ・考えて来た家を組み立てるときやかざりをつけるときが、一番楽しかったです。(小5女子)

質問3 今回見学した企業や体験した仕事に興味をもちましたか？



質問4 それはどうしてですか？

- ・お客様への配達、お預かりなどおもしろかったからです。(小5女子)
- ・かんきょうにやさしいことをしているのでいいなと思ったからです。(中1男子)
- ・いきなり本物の車を作るのではなくて、ねんどからつくっていくとゆうことが分かったから。(小6女子)
- ・今回とはちがう家をつくってみたいから。(小5男子)

■ 保護者からの声 (アンケートより抜粋)

物流の最前線

- ・当日家に帰ったらさっそくポストに不在通知が入っており、子どもに「どこの宅配便会社？」と聞かれ、今日一日興味をもって学んできたことがわかりました。
- ・こんなに楽しませてもらっているの！という位親子で感激してます。プログラムも内容も子どもが楽しめるよう工夫されていますし、多くのスタッフさんの手厚いご指導あり、たった一日で多くの心温まるできごとに出会えたわが子を幸せに思います。

エネルギーの最前線

- ・子供が会長さんの言葉に心を打たれたようでした。今までいろんな大人と接してきましたが、帰ってくるなり「会長さんが良かった」と言っていました。貴重な体験(環境にやさしい車に乗る、タンカーにのせてもらう)をさせていただき、初めての体験だったので「ENEOSで働きたい」と言っていました。
- ・学校では学ぶことのできない、社会の最前線、大きな会社でたくさんの刺激を受けたようです。大変お世話になり、ありがとうございました。

カーデザインの最前線

- ・私も子ども同様、すばらしいものを見させていただきうれしく思いました。子どもが何か刺激を受けて自分のやりたいことを見つけ、それに向かって努力できるようになればと思いました。良い時を過ごさせていただき感謝します。
- ・みなさんやさしく接していただいて楽しかったようです。3人1組とはいえ、自分の意見も取り入れてもらったデザインで認めてもらった事はとても嬉しかったようです。自信になったようです。

空間デザインの最前線

- ・実作業だけでなく、会社のとりくみや経営者の方のお話を聞ける構成になっており、その意味では、子のみならず親にとっても有意義なものとなっており、良かったと思います。
- ・最初は本当に出来るかどうか不安でしたが、スタッフのみなさんのおかげで無事に完成することが出来ました。また他のみなさんの家も楽しめました。一日ありがとうございました。

キッズ&ユース企画 ITらぼ

ITらぼは、FIFが初年度から実施している活動のひとつです。学校や家庭でふだん何気なく使っているパソコンを部品から組み立てることで、子どもたちにパソコンの中身やしくみを知ってもらうとともに、みんなで一緒にモノをつくりあげる楽しさや喜びを体感してもらうことを目的としています。

2008年度は大分銀行様、七十七銀行様との共催により首都圏以外で初めて「パソコン組み立て教室」を開催しました。またITの面白さをより深く知ってもらうと、組み立てたパソコンを使ってプログラミングを体験する「ロボットカーレース」を品川区内の小学校2校で実施し、プログラムの拡充に努めました。

コンセプト

イノベーションの未来を担う子どもたちの夢・可能性を広げよう

“使う側” から “創る側” へ

ITを“使う側”から“創る側”に立つことの喜び、楽しさを体感する
デジタルの世界を体感し、表現力・創造力を喚起する

ITリテラシーの向上

ITを身近に感じ、ITリテラシーの向上を図る

パソコン組み立て教室

- **コンセプト** パソコンを組み立てるという作業をとおして、パソコンのしくみや役割を理解するとともに、モノをつくる楽しさを体感する
- **対象者** 小学4～6年生
- **プログラム概要（1日コース）**



パソコンの部品と構造の説明

「部品クイズ」とおしてパソコンの構造を楽しく学ぶ

パソコンの組み立て

チームで協力しながらパソコンを組み立てる

組み立てたパソコンを使った学習

ポスターやカレンダーを制作しながら、パソコンで何ができるかを学ぶ

パソコンのしくみや役割の学習

パソコンの役割やしくみを学び、理解を深める

活動実績

大分少年少女発明クラブ

実施日 2008年2月16日(土) 10:00～15:15
場 所 大分第2ソフィアプラザビル
「ソフィアホール」(大分県大分市)
参加者 大分少年少女発明クラブ所属の
小学3～6年生の計16名

〈七十七〉キッズサマースクール

ものづくり教室～パソコンを組み立ててみよう～

実施日 2008年7月27日(日) 10:00～16:00
場 所 七十七銀行本店(宮城県仙台市)
参加者 宮城県在住の小学6年生、21名

品川区立立会小学校

実施日 2008年6月13日(金) 15:40～17:40
場 所 立会小学校(東京都品川区)
参加者 小学4～6年生の計15名

品川区立小中一貫校日野学園

実施日 2008年9月5日(金) 16:00～18:20
場 所 日野学園(東京都品川区)
参加者 小学5～6年生の計12名

大分にて

大分銀行様との共催



パソコンの中身がどうなっているのが気になった。(小4男子)



パソコンをつくった後、絵をかくのが楽しかった。パソコンをつくる時も楽しかった。(小6男子)



色々面白いことがたくさんあった。(小5男子)



大分銀行株式会社 専務取締役(当時) 甲斐 幸丈様

自分も幼いころインスタラジオを組み立てた経験がある。「パソコン組み立て教室」は子どもたちにとってきっと楽しい思い出になるだろうと思い、今回共催させていただいた。このように「ものづくり」の機会をつくってあげることは非常に大事であり、大分から第二、第三のビル・ゲイツが出ることを期待する。

仙台にて

七十七銀行様 130周年記念イベント



だんだんパソコンの形になっていくのが楽しかった。(小6男子)



パソコンはどういうふうになっているか、どういうものがつかわれているかを友だちに教えたい。(小6女子)



最後のポスター作りが楽しかった。(小6男子)

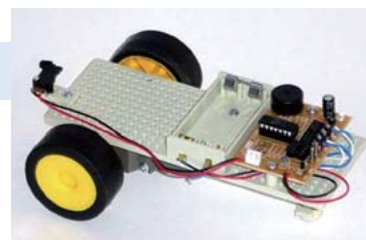


七十七銀行株式会社 専務取締役 永山 勝教様

2008年は大手企業の工場進出等で、宮城県内において「ものづくり」の機運が高まっていたこともあり、このプログラムは当行の130周年記念イベントとうまく合致した。(キッズサマースクールが)金融教室だけにとどまらず、ものづくり体験まで幅をもたせたイベントとして開催できてよかったし、子どもたちが満足そうな笑顔で帰っていったのをうれしく思う。

ロボットカーレース

- **コンセプト** パソコンでプログラムを書き、ロボットカーを自在に動かす体験をとおして、モノを動かすしくみを順序だてて考える楽しさを学ぶ
- **対象者** 小学4～6年生



- **プログラム概要 (2日コース)** ※ 初日は「パソコン組み立て教室」を開催

ロボットカーとプログラミングの講義

ロボットカーのしくみと
プログラミングの基礎を学ぶ

プログラミング演習

組み立てたパソコンでプログラムを書き、
ロボットカーの基本動作をマスターする

ロボットカーレース

いかに早く、または複雑なコースを
通ってゴールできるかチームで競う

活動実績

品川区立立会小学校

実施日 2008年6月14日(土) 10:00～15:50
場 所 立会小学校(東京都品川区)
参加者 小学4～6年生の計15名

品川区立小中一貫校日野学園

実施日 2008年9月6日(土) 10:00～15:30
場 所 日野学園(東京都品川区)
参加者 小学5～6年生の計10名

立会小学校にて



ケーブルをつなぐ
のが、とても楽し
かった。(小5男子)



またちがうレースを教え
てください。(小4男子)

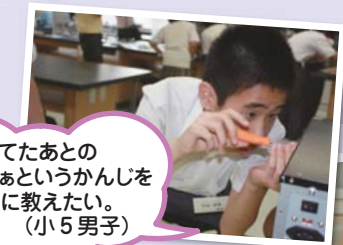


またやりたいです。
(小6女子)



日野学園にて

くみたてたあとの
やったあというかんじを
友だちに教えたい。
(小5男子)



とても楽しくて勉強
もいっぱいできた。
(小6女子)

ロボットカーの数値
決めが楽しかった。
(小6男子)

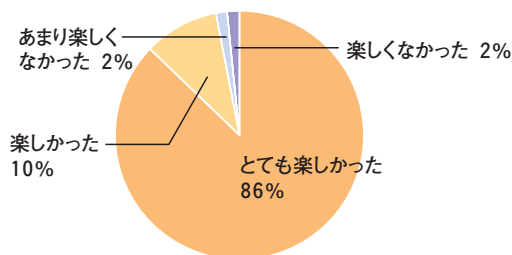


ITらば アンケート結果

プログラム終了時に実施しているアンケート結果の一部をご紹介します。
パソコンを組み立てたり、プログラムを書いたりすることの楽しさや難しさを実感するとともに、いろいろな発見をとおしてパソコンへの興味が増したようです。(回答者数86人、回答率98%)

■ 参加者の感想

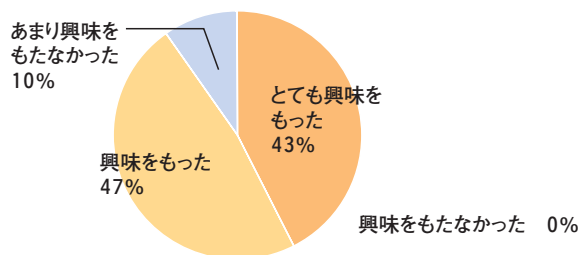
質問1 参加してみてどうでしたか？



質問2 パソコン組み立てでいちばん楽しかったのは何ですか？

- ・組み立て終わったときに最後に画面が付いたこと。
(小5男子)
- ・コンピュータをみんなでくみだてる所。(小5男子)
- ・ふだん見れないパソコンの中身が見れてよかった。
(小6男子)
- ・色々な所にネジをはめたり、どこにさすか考えたりする所!
(小6女子)
- ・パソコンのケーブルをつなげるところと最後のポスター作りが楽しかった。(小6男子)

質問3 パソコンにかかわる仕事について興味をもちましたか？



質問4 それはどうしてですか？

- ・パソコンの中身がどうなっているのか気になったから。
(小4男子)
- ・パソコンの仕組みがよくわかり友達と楽しかったから。
(小5男子)
- ・パソコンをつくってかんせいしたときにすごくうれしかったから。(小5男子)
- ・自分だけのパソコンを作ってみたいと思ったから。
(小6男子)
- ・初めてパソコンのしくみや、パーツ一つ一つのおもみを感じたから。(小6女子)

■ 保護者からの声 (アンケートより抜粋)

パソコン組み立て教室

- ・いつも使っているパソコンのしくみに触れることができました。限られた人数の1人になれてラッキーだと思います。
- ・子ども3人に2人のスタッフがついて下さったので消極的な子どもでもそれなりに参加できたようです。作業が積極的な子どもだけで進まないように順番を決める、交替でやる、消極的な子には声がけして発言をうながすなどの配慮はとても大切だと思います。最後まで子どもたちの手に任せて頂いたのもとてもよかったです。
- ・自分の取り扱っている機器について知ること、それがどのように作られているか、さらに、自分たちの手で作るということに手触りのある活動ができ、大きな学習効果が得られたのではないのでしょうか。

ロボットカーレース

- ・少人数でよくコミュニケーションが取れ、見ていて本当に楽しそうでした。この体験を今後いかせていけたらと思います。
- ・遊びの中にプログラミングを取り入れる事により子供達が十分に楽しんでいるようだった。
- ・子供は興味のあることには非常に集中しているという事、又、他学年の子供と協同して事を成すという体験は貴重であり、本人も楽しみながら新たな発見が出来た様子でした。
- ・今回、機械そのもののしくみの楽しさに子どもも気付いたように思われます。このようなイベントにもっと参加して子どもの興味を広げていきたいと思います。

キッズ&ユース企画 「KIDS 調査隊」

新企画

KIDS 調査隊は 2008 年度の新企画です。企業見学プログラムの実績を踏まえ、より地域に根ざした店舗での実践的な体験学習をととして、地域社会への理解を深め、地元への愛着を育むことを目的に企画し、初年度は新潟県の商品スーパー「魚栄商店」で実施しました。今後はスーパーに限らず業種を広げ、様々な地域で展開していきたいと考えております。

コンセプト

地域への理解、地域コミュニティとのふれあいを深めよう

地域社会への理解

自分たちが暮らしている地域の特徴を知り、理解を深める

地域への愛着の醸成

店舗を訪れる人々とのやりとりをととして、地域コミュニティとのふれあいを深め、地域への愛着を醸成する

環境に配慮した取組の学習

店舗での様々な取組を知ることで、環境に配慮する姿勢を学び、自分にもできる身近な環境対策を実践できるようにする

スーパーへGO! in 新潟（株式会社魚栄商店様）

- **コンセプト** 店舗実習や食育教室、エコバッグづくりなどを体験することで、食品スーパーのしくみを学び、食や環境、地域への理解を深める
- **実施日** 2008年8月2日(土) 8:30～14:00
- **実施場所** 株式会社魚栄商店 ウオエイ燕店（新潟県燕市）
- **参加者** 小学5～6年生の計20名
- **実施内容** 会社紹介、食品スーパーの説明
あいさつ&接客の練習
店舗実習①～オープン前の準備をして、お客さまをむかえよう！
POPづくり～本日特売の商品のPOPをつくろう！
店舗実習②～POPをかざりつけて商品を買ってみよう！
食育教室&昼食
エコバッグづくり
質問会



すごく楽しかったので、
またやりたいです。
(小5女子)

店内アナウンスもしたし、
ふくろづめもしたからとても楽しかった。
(小5女子)

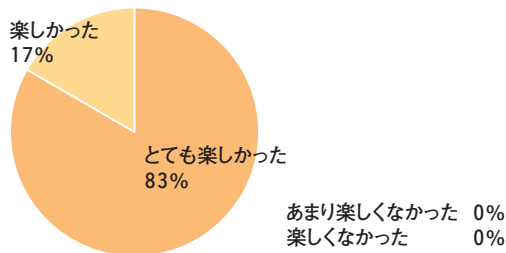
私たちは今日、スーパーのうらがわを体験してみても大変だとおもったのでこれからもがんばってください。(小6女子)

KIDS 調査隊 アンケート結果

初めての企画でしたが、参加者はみんな楽しんでくれたようです。子どもたちに身近なスーパーだけに、やはりいちばん人気が高かったのは店舗実習でした。アンケート結果の一部をご紹介します。(回答者数20人、回答率100%)

参加者の感想

質問1 参加してみてどうでしたか？



質問2 それはなぜですか？

- ・バックづめがとても楽しかった。(小5男子)
- ・自分たちでならべたパンがたくさん売れていたから。(小5女子)
- ・スタッフさんがやさしくてとてもやりやすかったから。(小5女子)
- ・ウオエイのうらでエビをつめたり、それにねだんをつけるのが楽しかった。(小6男子)
- ・新しい友達ができたり、新しい体験ができたので楽しかったです。(小6女子)

質問3 今回の体験でおもしろかったものは何ですか？ (複数回答可)

順位	内容	割合
1	店舗実習①開店前の準備	28%
2	店舗実習② POP 展示・販売体験	25%
3	エコバッグづくり	22%
4	POP づくり	17%
5	そのほか (アナウンス体験)	5%
6	食育教室&昼食	3%

質問4 何か新しい発見がありましたか？

- ・開店まえでも、すごく大変なことが分かりました。(小5女子)
- ・品物をてんじするまえにてんけんをしないといけないということを発見しました。(小5女子)
- ・ウオエイのうらで何人もの人が一生けんめいに働いていること。(小6男子)
- ・お店の人は、いつも立ちっぱなしで、大きい声を出してすごいと思った。(小6男子)

保護者からの声 (アンケートより抜粋)

- ・楽しかったよ〜と帰って来ました。いつも買い物をする身近なスーパーでこのような体験が出来た事がよかったです。スタッフの対応もよく、1日楽しんだ様子でした。
- ・店内アナウンスやタイムセールと呼びかけなど、お客様が反応してくれるので頑張ったと言っていました。スーパーで売られている品が何人も人の手を経て店頭に並ぶとか、入れるものの分量によってトレーの大きさが違うとか、実際に体験して実感できたのは素晴らしいことでした。

特別企画 キッズ&ユース企画

ミュージカル観劇&バックステージツアー

「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」観劇&バックステージツアー

夏休み期間中に、FIFの活動にご協力いただいている小学校や団体にミュージカル「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」の観賞チケットをプレゼントしました。この作品は同名絵本を舞台化したもので、生きることの素晴らしさや命の尊さを描いています。ミュージカル終演後はバックステージツアーを行い、ふだん見られない舞台のしかけや装置を見学しました。

■大阪公演

- ・実施日 2008年8月16日(土) 11:30～13:30
- ・実施場所 NHK大阪ホール(大阪市中央区)
- ・参加者 15名

■東京公演

- ・実施日 2008年8月27日(水) 13:00～15:00
- ・実施場所 ゆうぼうとホール(東京都品川区)
- ・参加者 9名



(写真提供: 葉っぱのフレディ事務局)

■参加者の感想 (後日いただいたお手紙より抜粋)

- ・葉っぱの一生や命の大切さを学びました。とてもいいお話だったのでまたみたいです。(小5男子)
- ・私が一番印象に残った事は「生き物はみんなつながりあっていきている」という所が印象に残りました。(小5女子)
- ・ぼくは葉っぱのフレディのショーをみて命は一つしかなくすごく大切なんだな、と思いました。(小5男子)
- ・葉っぱのフレディでは、命の大切さをまなびました。葉っぱがちるところはちょっとかなしかったけど、とてもおもしろかったです。(小5女子)
- ・私が一番印象に残っているのは、葉っぱが冬に死に春にはまた新しい葉っぱができる場面です。順番にちっていくところがとても悲しかったです。(小5女子)
- ・私が一番心に残ったのは、葉っぱは虫たちに食べられ、またその虫はくもに食べられ、フレディが「食べられるのも仕事」と言った所です。また見に行きたいです。(小5女子)
- ・ぼくが一番心に残った場面は葉っぱがみんなちっていった場面です。また見たいと思いました。本当にありがとうございました。(小5男子)

新企画

キッズ&ユース向けウェブサイト「FIFkids」

子ども向けの情報発信ツールとして、2008年6月6日にウェブサイト「FIFkids」をオープンしました。おもな対象は小学高学年～中学生。オープンにあわせて、キッズロゴとキャラクターも制作し、イベントの募集告知や開催報告で活躍させています。下記にURLを記載しておりますので、ぜひご覧ください。



■ URL

<http://fif.jp/kids/>

■ キッズロゴ



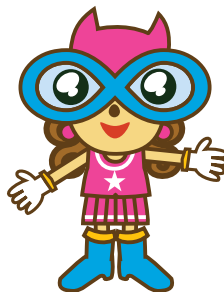
■ キャラクター

FIFkidsのサイトはガク、ラク、ワクの仲良しトリオ「みっけ隊!」がナビゲートします。3人がかけているのは無限大(=∞)めがね! このめがねを通していろいろな可能性を見つけていきます。



ガク=学(まなぶ)

勉強もスポーツも得意だよ。腕につけているマルチウォッチはメモを書いたり写真をとったりインターネットの検索もできるんだ! 左足にあるマナボールはスペシャルアイテム。使い方は、まだヒミツ!



ラク=楽(たのしむ)

楽しいこととおしゃれとお友だちが大スキ! みんなで力を合わせてなにかにチャレンジするってステキじゃない! 今日もお気に入りのソラブーツでがんばるみんなを応援に行くの～!



ワク=わくわくドキドキ!

新しいことや知らないこと、めずらしいことに興味しんしん。だってわくわくドキドキするでしょ? 頭のさきのワクドキアンテナが光りだしたらそれが合図。いっしょにアンテナが指すところに行ってみよう!

グループ名について

公募で寄せられた中から厳正なる審査の結果、この仲良しトリオを「みっけ隊!」と命名! この名前には、

★キャラクターが3…だから「みっ(3)け隊」

★3人の名前から…

学びの場、機会をみっけたい!

楽しいことを、楽しめることをみっけたい!

わくわく、ドキドキをみっけたい!

と、たくさんの思いが込められています。

プレス クリッピング集

メディア報道リスト

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」

物流の最前線

輸送経済新聞 ★

カーデザインの最前線

日刊自動車新聞 ★

八王子テレメディア「Daily Newsデイリー八王子」

ITらぼ

パソコン組み立て教室

in 大分少年少女発明クラブ

大分合同新聞 ★

読売新聞 ★

金融経済新聞 ★

ニッキン ★

大分放送

大分朝日放送

〈七十七〉キッズサマースクール

ものづくり教室

～パソコンを組み立ててみよう～

朝日新聞 ★

ニッキン ★

河北新報社 ★

パソコン組み立て教室

+ロボットカーレース@立会小学校

少年写真新聞「学校コンピュータ」★

KIDS 調査隊

スーパーへGO! in 新潟

新潟日報 ★

★は次ページより掲載記事を紹介

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」 物流の最前線



荷台の広さに驚く子どもたち



荷物が運ばれていく様子に釘付け



栗和田社長から1人1人に修了書を授与

荷物を運ぶのも大変だ

佐川急便(本社・京都府・栗和田)は3月17日、香川県に在籍する小学3年生から5年生まで、約20名の子供たちを、本社本社(香川県高松市)に招き、企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」を開催した。当日は、倉庫内を案内し、荷物の運搬の様子や、荷物の積み下ろし、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。また、子供たちには、荷物の運搬の様子や、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。また、子供たちには、荷物の運搬の様子や、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。

当日は、倉庫内を案内し、荷物の運搬の様子や、荷物の積み下ろし、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。また、子供たちには、荷物の運搬の様子や、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。また、子供たちには、荷物の運搬の様子や、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。



「店舗数はいくつ?」という質問を出す加藤さん(左)と河野さん



大型トラックの運転席は大人気



荷物の受取人を間違えないように電話

小学生23人が参加 佐川急便見学会

主催 FIF
ちびっ子社員大活躍

佐川急便(本社・京都府・栗和田)は3月17日、香川県に在籍する小学3年生から5年生まで、約20名の子供たちを、本社本社(香川県高松市)に招き、企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」を開催した。当日は、倉庫内を案内し、荷物の運搬の様子や、荷物の積み下ろし、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。また、子供たちには、荷物の運搬の様子や、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。

当日は、倉庫内を案内し、荷物の運搬の様子や、荷物の積み下ろし、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。また、子供たちには、荷物の運搬の様子や、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。

当日は、倉庫内を案内し、荷物の運搬の様子や、荷物の積み下ろし、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。また、子供たちには、荷物の運搬の様子や、荷物の検閲の様子などを、子供たちに説明した。

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」 カーデザインの最前線

未来のクルマデザイン

小学生対象にイベント

F I F

フューチャーイノベーションフォーラム(FIF、牛尾治朗代表、金丸恭文代表)は4日、小学生を対象にした企業見学プログラム「『社会の最前線』見学・未来のクルマをデザインしよう」をトヨタ自動車東京デザインセンター(東京都八王子市)で開催した。12人の小学生がイベントに参加し、トヨタのデ

ザイナーとともに、「10年後の未来のクルマ」をデザインした。

当日は、自動車のデザインが決まるまでの過程を学んだ後、グループごとにデザインを考え、そのアイデアをもとにプロが使用する粘土でモデルを製作した。同イベントにはトヨタの平井和平常務役員も参加。子供たちの夢



が実現した理由は、常に『人に喜んでもらいたい、人がビックリするようなものを作り

たい』という思いがあり、それを実現するためにただ勉強するだけではなく、自分で考える、想像するということを続けたからだ。いつも自分で想像する、自分で考えるということを通じて、夢を叶えてほしい」とエールを送った。

同イベントは「『社会の最前線』見学」と題し、FIFが夏休みの小中学生を対象に実施しているもの。今年度はトヨタのほか、新日本石油、コスモスイニシアの企業見学プログラムを企画している。

日刊自動車新聞 2008年8月13日付5面

ITらぼ

パソコン組み立て教室 in 大分青少年少女発明クラブ



パソコン組み立て教室に児童16人を対象とした「ITらぼ」を目的とした「ITらぼ」

情報技術（IT）の魅力を次世代に伝えることなどを目的とした「ITらぼ」

大分銀行と共催した。

子どもたちは、4人ずつの班に分かれ、サイズ形式でパソコンを構成する部品について学んだ後、中央

真剣な表情でパソコンを組み立てる子どもたち

▲パソコン組み立て教室が16日、大分市春日町で開かれ、大分青少年発明クラブの小学生16人が参加した。子どもたちは、パソコンの部品一つひとつに興味を示しながら、手際よく組み立てていった。

情報システムや電機など首都圏の企業が参加して、2006年1月に発足した社会貢献組織「フューチャー・イノベーションフォーラム」（東京・品川区）が大分銀行と共催した。

子どもたちは、4人ずつの班に分かれ、サイズ形式でパソコンを構成する部品について学んだ後、中央



大分市の大分第二フイに取り組み「フューチャー・イノベーションフォーラム」（東京）と大分銀行の共催。大分青少年発明クラブのメンバー16人が参加した。

子どもたちは部品を一つずつ組み立てながらパソコンの仕組みなどを学習。完成したパソコンが起動すると大喜びした。

の重奏

◇小学生を「アフラザビル」で開かれ対象にした「IT」。

「らぼ」パソコン。子どもたちに情報技術（IT）や、ものづくりの楽しさを伝える活動が目的とされている。

大分市の大分第二フイに取り組み「フューチャー・イノベーションフォーラム」（東京）と大分銀行の共催。大分青少年発明クラブのメンバー16人が参加した。

子どもたちは部品を一つずつ組み立てながらパソコンの仕組みなどを学習。完成したパソコンが起動すると大喜びした。

大分合同新聞 2008年2月17日付朝刊25面

読売新聞 2008年2月21日付朝刊26面

パソコンの組み立てを実践

大分銀行と共催した「ITらぼ」の楽しさを伝える

【福岡】大分銀行は2月16日、フューチャー・イノベーションフォーラム（FIF）、牛鹿沼町代表「ウシオ電機」と共催で「パソコン組立て教室 in 大分（青少年発明クラブ）」を初めて開いた。会場はフイ・アフラザビル（大分市）では、大分青少年発明クラブ所属の小学5、6年生16人が、部品からパソコンを組み立てた。

5チームに分かれ、子どもたちは、協力してパソコンの組み立てに挑戦した。



完成したパソコンが立ち上がる。歌声が上がった。最後、組み立てたパソコンの写真を加工し、ベンチマークテストを兼ねて、カードで子供たちにモノ作りの楽しさを教えるよう、今回の教室を開催した。

FIFは、06年1月の設立以来、子供たちを対象にITやモノ作りに触れてもらうための活動を行っている。

金融経済新聞 2008年2月25日付4面

パソコン組み立てを「体験」

大分銀行

大分銀行は16日、フューチャー・イノベーションフォーラム（略称「FIF」）との共催で、「ITらぼ」パソコン組み立て教室 in 大分青少年発明クラブ」を開催した。写真

FIFがパソコン組み立て教室を首都圏以外で開催するのは初めてで、同行では社会貢献の一環としてパソコンを部品から組み立てる体験を通して、子どもたちにパソコンの中身や仕組みを知ってもらうとともに、モノ作りを体験してもらうのが狙い。

FIFは06年1月の設立以来、子どもたちや会員を対象にITやモノづくりに触れてもらうためのさまざまな活動を行っている。

教育現場における情報化推進の一環として、全国で進められている「オープンスクールプラットフォーム（OSP）」事業のベースとなる、オープンソースソフトウェア（OSS）の最新パッケージを使用したパソコンの組み立てなど、楽しい時間を過ごした。

（福岡）



今回はアセンティア、フューチャー・イノベーションフォーラムの協力で、大分市の大分第二フイ・アフラザビル1階において大分青少年発明クラブ所属の小学4～6年生16人が参加。

教育現場における情報化推進の一環として、全国で進められている「オープンスクールプラットフォーム（OSP）」事業のベースとなる、オープンソースソフトウェア（OSS）の最新パッケージを使用したパソコンの組み立てなど、楽しい時間を過ごした。

（福岡）

ニッキン 2008年2月29日付18面

ITらぼ

〈七十七〉キッズサマースクール ものづくり教室～パソコンを組み立ててみよう～

「色んな部品でできるとんだね。パソコンの内部を見て子供たちは興味津々」仙台市青葉区



**PCを組み立て
ものづくり体験**

■仙台の七十七銀

県内の小学6年生21人が27日、仙台市青葉区の七十七銀行本店で、パソコン組み立てに挑んだ。講師の説明を聞きながら、中央演算処理装置(CPU)やメモリーを手になら「逆さまにならなくていい。悪戦苦闘しつつも笑顔を増やさせて、初の自作パソコンを組み上げていった。

県の工務部などが盛り上がりを見せる中、同銀行が子供たちへの「ものづくり」を体験してもらおうと企画。3人1組が、1日ばかりで取り組んだ。完成したパソコンで児童らは県を紹介するポスター作りを試みた。その後、手作りの計8台を県内の福祉施設に寄贈した。

朝日新聞 2008年7月28日付

懸命にPCを組み立てる子供らを見守る
鎌田頭取(右) (7月27日、本店で)



写真を読む

ものづくりの楽しさを

【仙台】七十七銀行は7月27日、創業130周年記念事業の一環で、「ものづくり教室～パソコンを組み立ててみよう」を開催。小学6年生21人が3人1組で7台のPCを組み立てた。仙台に自動車関連の工場が相次いで進出するなか、鎌田宏頭取は「ものづくりに興味を持ってもらえれば」と。PCは社会福祉施設に寄贈する。(文・写真＝横田 幸雄)

ニッキン 2008年8月1日付1面

◆PC自作に挑戦

仙台 七十七銀行
主催の「ものづくり教室」が仙台市青葉区に呼び寄せた



青葉区の本店で開かれ、児童21人がパソコンの組み立て作業に挑戦した。三人ずつ七班に分かれ、計八百を作った。組み立て用のキットをほめて、初回は「逆さまにならなくていい。悪戦苦闘しつつも笑顔を増やさせて、初の自作パソコンを組み上げていった。

県内の小学6年生21人が27日、仙台市青葉区の七十七銀行本店で、パソコン組み立てに挑んだ。講師の説明を聞きながら、中央演算処理装置(CPU)やメモリーを手になら「逆さまにならなくていい。悪戦苦闘しつつも笑顔を増やさせて、初の自作パソコンを組み上げていった。

県の工務部などが盛り上がりを見せる中、同銀行が子供たちへの「ものづくり」を体験してもらおうと企画。3人1組が、1日ばかりで取り組んだ。完成したパソコンで児童らは県を紹介するポスター作りを試みた。その後、手作りの計8台を県内の福祉施設に寄贈した。

河北新報社 2008年8月7日付

ITらぼ

パソコン組み立て教室+ロボットカーレース@立会小学校



学校コンピュータ

2008年(平成20年)8月28日発行 350号付録

少年写真新聞 株式会社 少年写真新聞社

〒102-8232 東京都千代田区九段北1丁目9番12号 URL <http://www.schoolpress.co.jp/>

©少年写真新聞社 2008年 ※著作権法により、本紙の無断複写・転載は禁じられています。

★定期刊行物は終わる期間を予定していない刊行物ですから、年度が変わりましても購読中止のお申し出がない場合、引き続きニュースをご送付申し上げます。

パソコン組み立てとプログラミング教室

主催：フューチャー イノベーション フォーラム (FIF) <http://fif.jp/>

みんなでパソコンを組み立てよう

6月13日・14日、東京都の品川区立会小学校でパソコン組み立て教室と、組み立てたパソコンを使ったプログラミングおよびロボットカーレースが行われました。参加したのは同校の4年生から6年生15名。1チーム3名の5チームに分かれて、初日はパソコンの組み立てに挑戦しました。

パソコンを構成するパーツは家電量販店などでも簡単に入手することができ、初心者でも基本的な手順に従えば、自作のパソコンを組み立てることができます。今回の組み立て教室で、ファシリテーター（進行役）の助けを借りながらも、子どもたちは約2時間でパソコンを組み立てました。

パソコンを自分たちで組み立てることで、子どもたちはパソコン内部の仕組みやパーツを扱う際の注意点などを学ぶことができました。教室では初めに「どれがCPU？」といったクイズを出題し、その後に実物を手にして組み立て作業を体験していききました。

自作パソコンでプログラミング

2日目には、前日に組み立てたパソコンを使ってプログラミング教室とロボットカーレースが開催されました。この日、子どもたちが使ったのは、子どもでも簡単にプログラムをつくることのできる「ミュウロボ」というロボットカーで、障害物を置いた碁盤状のコースでレースは行われました。

3秒前進、右折、左折…。ロボットカーを思い通りに制御するためには、コース上の1ますを何秒で走らせるのかという計算や、実際に走らせた後での修正作業が必要になります。子どもたちは、動きのイメージと計算、実践の繰り返しというプログラミングの基本を「カーレース」という遊びの要素と絡めながら、学習していききました。

立会小学校でのパソコン組み立て教室は昨年に続き今回が2回目。今年はロボットカーを使って初歩的なプログラミングを学ぶこともでき、子どもたちはいつもの授業とは違うコンピュータの楽しさを実感していききました。



①初日は、放課後の2時間を使い、パソコンの組み立てに挑戦しました。

②2日目は、プログラミングを学んでロボットカーレースを開催。タイムや難易度を競いました。

KIDS調査隊

スーパーへGO! in 新潟



笑顔で「いらっしゃい」

児童らは、開店前に商品の仕入れの説明や品出しの手伝いをした後、開店と同時にやってくる買い物客に「いらっしゃいませ」と声を掛け

た。児童らは、開店前に商品の仕入れの説明や品出しの手伝いをした後、開店と同時にやってくる買い物客に「いらっしゃいませ」と声を掛け

「キッズ調査隊」スーパーへGO!と題し、魚菜商店本社・新潟市と、同社の親会社のフューチャーアーキテクト(東京)などが参加する任意団体が共催した。

幼い笑顔で「いらっしゃいませ」。燕市内の小学五、六年生二十人が一日、同市杣木のウオエイ燕店で「店員体験」をした。写真11児童らが売り場に出て店員体験をした(2日、燕市杣木のウオエイ燕店)。

児童スーパー店員を体験

さらに、商品を説明す

るPOP広告作りに挑戦。牛のイラストに吹き出しを付け「おいしいモカみながら「ありがとうございます」と感えてい

た。

肉売り場では、実演販売する店員の脇で「食べてください」と懸命にア

た。

燕西小五年の佐藤さん(9)は「自分が作ったポスターで売れたの

新潟日報 2008年8月5日付16面

イベント ポスター集

企業見学プログラム「『社会の最前線』見学」

物流の最前線

エネルギーの最前線

カーデザインの最前線

空間デザインの最前線

ITらぼ

パソコン組み立て教室

in 大分少年少女発明クラブ

〈七十七〉 キッズサマースクール

ものづくり教室

～パソコンを組み立ててみよう～

KIDS 調査隊

スーパーへGO! in 新潟

企業見学プログラム

『社会の最前線』見学 ～物流の最前線～

荷物をはこぶ仕事のひみつを知ろう！

参加者募集！

参加してね！
まってるよ!!



サガワくん

■ 実施日

3月27日(木)
10:00～16:30

参加無料
昼食つき

佐川急便は1日に400万個の荷物を日本全国にはこんでいます。
荷物がとどくまでの流れを学んだり、実際に配達にいたりして、「宅配便のしくみ」を学んでみませんか？

■ 見学先

佐川急便株式会社 (東京都江東区新砂2-1-1)

■ 荷物の配達・集荷先 (東京都千代田区)

株式会社大和証券グループ本社
三菱商事株式会社



プログラム内容

- ① 「荷物をはこぶ」仕事とは？
- ② 荷物をとどけにいこう！
- ③ いろいろなトラックの見学
- ④ 栗和田社長に質問しよう！



- 対象者：小学5～6年生
- 募集人数：18名 ※ 定員を超えた場合は、締め切り後に抽選を行います。
- 参加方法：郵送、FAXまたはメールにて、**3月7日(金)必着**でお申し込みください。
 - ※ 郵送、FAX：別紙の専用申込用紙をご利用ください。
 - ※ メール：件名に「『物流の最前線』参加希望」とご明記のうえ「氏名(フリガナ)」「電話番号」をご連絡ください。折り返し、申込用紙をお送りいたします。
- お申し込み、お問い合わせ：フューチャー イノベーション フォーラム事務局
 〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー15階
 TEL：03-5740-5817 (祝休日を除く平日10:00～17:00)
 FAX：03-5740-5843 e-mail：forum@future.co.jp
- その他：動きやすい服装、運動靴で参加してください。
 ※ 保護者様の付き添いでの参加はご遠慮いただいておりますので、あらかじめご了承ください。



主催：フューチャー イノベーション フォーラム
 協力：佐川急便株式会社、株式会社大和証券グループ本社、三菱商事株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社
 後援：江東区教育委員会、千代田区教育委員会



参加者募集!
参加費無料
昼食付き

7月31日(木) 10:00~16:30
対象:中学生(定員20名)

※定員を超えた場合は締切後に抽選を行います。ご了承ください。



昨年の参加者より: 「初めての事ばかりで、とてもたくさんのがわかって楽しかった」中1女子、「中央技術研究所のような所で研究が出来たら良いなと思った」中1男子、「ただ石油を売るだけでなく、地球にやさしい物を作っていることを知った」中2男子

新日本石油ってどんな会社かな??
エネルギーの最前線を体験しよう!
根岸製油所・石油タンカーを見学しよう!
石油業界のトップに質問しよう!

企業見学プログラム「社会の最前線」見学
～エネルギーの最前線～

- 開催場所:新日本石油(株)中央技術研究所、新日本石油精製(株)根岸製油所
- 応募方法:FIFのホームページまたは専用チラシ
- お申込み、お問合せ:フューチャー イノベーション フォーラム事務局
URL: <http://fif.jp/kids/> TEL: 03-5740-5817(祝祭日を除く平日10時~17時)
- 申込締切:7月10日(木)FIF事務局必着
- 主催:フューチャー イノベーション フォーラム
- 協力:新日本石油(株)、新日本石油精製(株)、フューチャーアーキテクト(株)
- 後援:品川区教育委員会、横浜市教育委員会、家庭教師のトライ

※天候などにより、タンカーに乗船できない場合があります。またタンカーは高い所に登ることになりますので予めご了承ください。



エネゴリくん





企業見学プログラム「社会の最前線」見学

カーデザインの最前線

きみのアイデアが未来のクルマを変える！



デザイナーの仕事を経験しながら、プロと一緒に未来のクルマをデザインしよう！



昨年の参加者より：「大好きなクルマづくしだったからとっても楽しかった」小5男子、「カーデザインを自分達で作るのが楽しかった」小5男子
「ふつうではできない体験ができた」小6男子、「粘土でいろいろな部品を作ったことが楽しかった」小6男子

8月4日(月) 10:00~16:00

対象：小学5~6年生(定員12名)

※定員を超えた場合は締切後に抽選を行います。ご了承ください。

**大募集！
参加無料**

- 開催場所：トヨタ自動車株式会社 東京デザイン研究所（東京都八王子市石川町2-3）
- 参加費：無料（昼食つき）※集合場所（JR日野駅）までの交通費は各自ご負担ください。
- 応募方法：事前課題に沿って、FIF事務局に郵送にてお申し込みください。
- お申込、お問い合わせ：フューチャー イノベーション フォーラム事務局
〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2アートヴィレッジ大崎セントラルタワー15階
TEL：03-5740-5817（祝祭日を除く平日10時~17時） URL：http://fif.jp/kids/
- 申込締切：**7月4日(金) FIF事務局必着**
- 主催：フューチャー イノベーション フォーラム（FIF）
- 協力：トヨタ自動車株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社
- 後援：品川区教育委員会、八王子市教育委員会、横浜市教育委員会、家庭教師のトライ





空間をデザインするって、どんなお仕事？
夏休みに、空間デザインを体験しよう！！

開催日
8/24(日)
10:00～15:00



**親子参加
参加費無料
昼食つき**
※現地までの交通費は
ご負担ください。

※写真は、(株)コスモスイニシアの
産学協同研究「ココラボ2007」の
様子です



フューチャーイノベーションフォーラム
「社会の最前線」見学

～空間デザインの最前線～

親子で、パネルをつかった家づくりにチャレンジ！

会場	株式会社コスモスイニシア（東京都千代田区内幸町1-3-2）
対象者	小学5～6年生のお子様とその親御様10組（予定） ※定員を超えた場合は、お切後に抽選を行います。
参加方法	FIFのホームページ、もしくは専用申込チラシをご覧ください
お申込締切	8月4日（月）必着
その他	参加ご家族には、今回のテーマに関連する宿題を事前に配布します
お申し込み・お問い合わせ	フューチャーイノベーションフォーラム事務局 TEL:03-5740-5817（祝休日を除く平日10:00～17:00） ホームページURL URL: http://fif.jp/kids/

**あつまれ！
小学5・6年生**

主催：フューチャーイノベーションフォーラム
協力：株式会社コスモスイニシア、フューチャーアーキテクト株式会社
後援：品川区教育委員会、千代田区教育委員会、横浜市教育委員会、家庭教師のトライ **FIF kids** エフアイエフキッズ

地域をみつめ 未来をみつめ
大分銀行 FIF 共催

フューチャー イノベーション フォーラム：ITらぼ

パソコン組み立て教室

～in 大分少年少女発明クラブ～

2008年2月16日(土)

10:00～15:00

【会場：株式会社アセンディア 研修室】



パソコンの中は
どうなっているのだろう？
自分で組み立てながら、
学んでみよう！！



共催：株式会社大分銀行、フューチャー イノベーション フォーラム
後援：大分県、大分県情報サービス産業協会
協力：株式会社アセンディア、フューチャーアーキテクト株式会社



〈七十七〉キッズサマースクール
フューチャーイノベーションフォーラム: Ⅱらぼ



ものづくり教室

～パソコンを組み立ててみよう～

2008年7月27(日)

10:00～16:00

会場 七十七銀行本店

パソコンの中はどうなっているのかな？
みんなで組み立てながら学んでみよう！

みんなで
力を合わせて
がんばろうね！

FIFキッズキャラクター
“みっけ隊！”



ラク

ガク

カク



(写真: 品川区立立会小での様子)



共催 : 株式会社七十七銀行、フューチャー イノベーション フォーラム
後援 : 宮城県、宮城県金融広報委員会
協力 : フューチャーアーキテクト株式会社

FIF kids エフアイエフキッズ

夏休みの自由研究は
これできまり!!



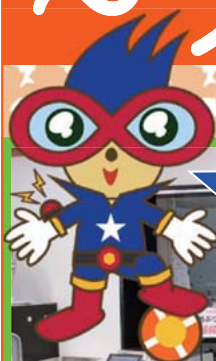
みんなで
エコバッグを
つくるの~!

これがエコバッグだよ



キッズ KIDS調査隊

~ スーパーへGO! ~



お店のお仕事を
体験しよう!



ポップ
POP (宣伝用の掲示物) も
つくるよ!

開催日: 8月2日(土)
8:30~14:00

参加者募集!
参加費無料 昼食付き

- | | |
|----------|---|
| 会場 | ウオエイ燕店 (燕市柚木廿六木1458) |
| 対象者 | 小学5~6年生、定員20名(予定) ※ 定員を超えた場合は、締切後に抽選を行います。 |
| 参加方法 | FIFのホームページ、もしくは専用申込チラシをご覧ください。 |
| お申込締切 | 7月17日(木)必着 |
| お申込・お問合せ | フューチャー イノベーション フォーラム 03-5740-5817(祝休日を除く平日10時~17時)
ホームページURL http://fif.jp/kids/ |



主催:フューチャー イノベーション フォーラム
協力:株式会社魚栄商店、フューチャーアーキテクト株式会社
後援:燕市教育委員会



お問い合わせ先

フューチャー イノベーション フォーラム事務局

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー 15 階
(フューチャーアーキテクト株式会社内)

TEL 03-5740-5817

E-mail forum@future.co.jp

URL <http://fif.jp/> (会員向け)

<http://fif.jp/kids/> (キッズ&ユース向け)

発行 2009年3月

